

水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料

【1 成果の概要】

- (1) 窒素の溶出を初期に抑制し、幼穂形成期頃に促進する全量基肥栽培向けの直播用肥料を開発しました。
- (2) 従来の肥料に比べ穂数が増加し、収量がおよそ6%増加します。
- (3) この肥料は今後県内で市販される予定です。

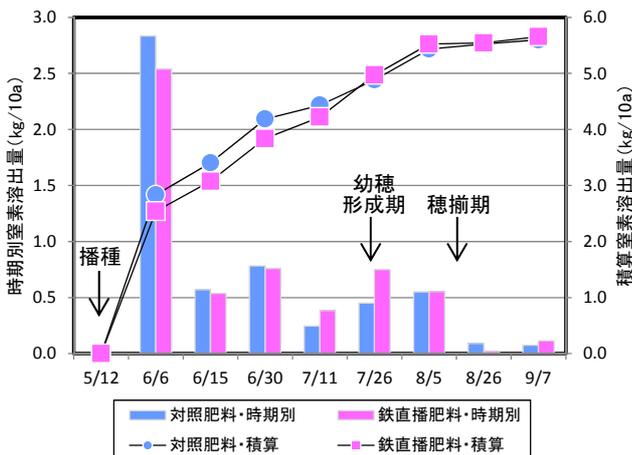


図1 肥料の窒素溶出量の推移

開発した肥料（以下、鉄直播肥料）の窒素構成
LPコート30:CG40:セラコートR70=13:50:37

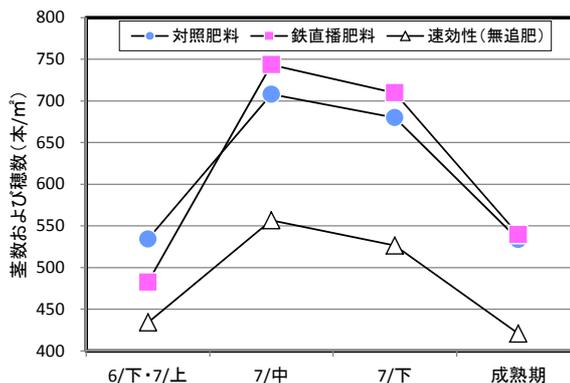


図2 茎数および穂数の推移（ひとめぼれ）

初期の分けつがやや少ないが、7月中旬にかけての
茎数の増加が大きい

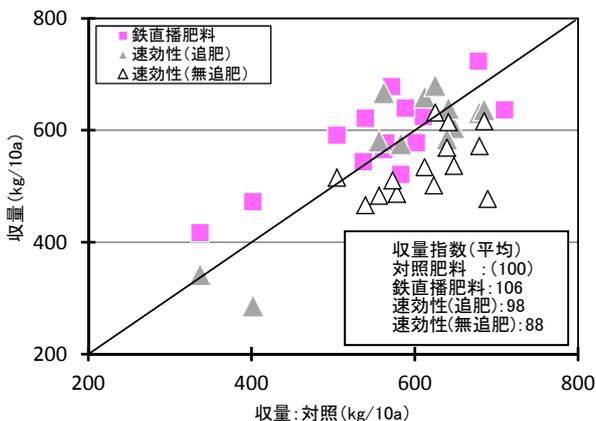


図3 対照肥料と鉄直播肥料の収量比較

6%の増収を確認
(品種:「ひとめぼれ」、「どんぴしゃり」)
※マーカーが直線よりも上の位置だと、対照肥料に比べ収量
が上回ったことを意味する

表1 収量構成要素および玄米品質等(ひとめぼれ)

	対照肥料	鉄直播肥料
精玄米重(kg/10a)	551	593
同上記	(100)	108
屑米重(kg/10a)	32.6	37.1
穂数(本/m ²)	525	540
一穂粒数(粒)	48.8	52.7
m ² 粒数(×千粒)	25.6	28.4
千粒重(g)	24.3	24.1
登熟歩合(%)	90.8	89.7
玄米タンパク質(%)	5.6	5.5
倒伏(0-5)	0.8	0.5
等級(1-10)	2.5	2.0

玄米タンパク質や倒伏程度の増加、検査等級の低下
は認められない

【2 留意事項】

- (1) 「ひとめぼれ」および「どんぴしゃり」を対象にした試験結果です。これらより熟期の早い品種への適応については確認していません。
- (2) 基肥に速効性肥料を用いる場合、追肥を行わないと収量が低下します。ただし、幼穂形成期に追肥を行うことで収量を確保できる場合があります。

担当研究室 環境部 生産環境研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4422 FAX. 0197-71-1085